

報告書の構成

※グラフィメージは次ページ参照

調査の概要

目的、対象、調査期間、調査事項、回答者の属性等

調査結果

第1部 東京都全体の調査結果

…単純集計、経年推移、クロス集計（性・年代、職業別、加入保険、各設問）

コラム1 つながりと健康～そのメカニズム～

第2部 区市町村別の調査結果

第1章 区市町村・性別結果 …単純集計、クロス集計（性別）

コラム2 健康格差～都民の病気や健康状態についての区市町村ごとの違い～

第2章 区市町村及び二次保健医療圏・性・年齢2階級別結果 …Zスコア

総評 つながりづくりから始まる「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」

区市町村別の集計結果を降順で掲載

区市町村間の相対的な位置を示す指標で表示

【報告書監修者】 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム・研究副部長 村山 洋史 氏

調査結果の今後の活用について

① 各区市町村のローデータ（個人情報を含まない）を当該区市町村に配布

→健康づくり施策の検討や健康教育企画において調査結果の活用を促す。

② 本調査を活用した区市町村の取組に対し、引続き、財政支援を実施（包括補助）

→区市町村における、地域の実情に応じた健康づくり事業を推進するとともに、健康格差の縮小に向けた取組（社会環境整備、地域のつながりの醸成等）を促す。

報告書公表までのスケジュール

- 施策検討部会・推進会議での報告後、今年度末に報告書を公表
- 公表後、調査結果ローデータを区市町村へ送付

	2月	3月	4月
調査	集計・分析、報告書の作成・校正 報告書完成●		区市町村へデータを展開
推進会議	単純集計結果、報告書案の報告・検討 3/6第3回施策検討部会★	最終内容を報告 3/28推進会議★	公表予定日 3月31日

第1章 区市町村・性別結果

- ・ 区市町村別の集計結果を、結果の降順で掲載
- ・ 区市町村別の違いが視覚的に分かるよう、地図上に色分けで結果を表示

例：【問1】あなたは、自分の健康状態をどのように感じていますか。

図2-1-1 自分の健康状態に対する意識（区市町村・性別 降順）

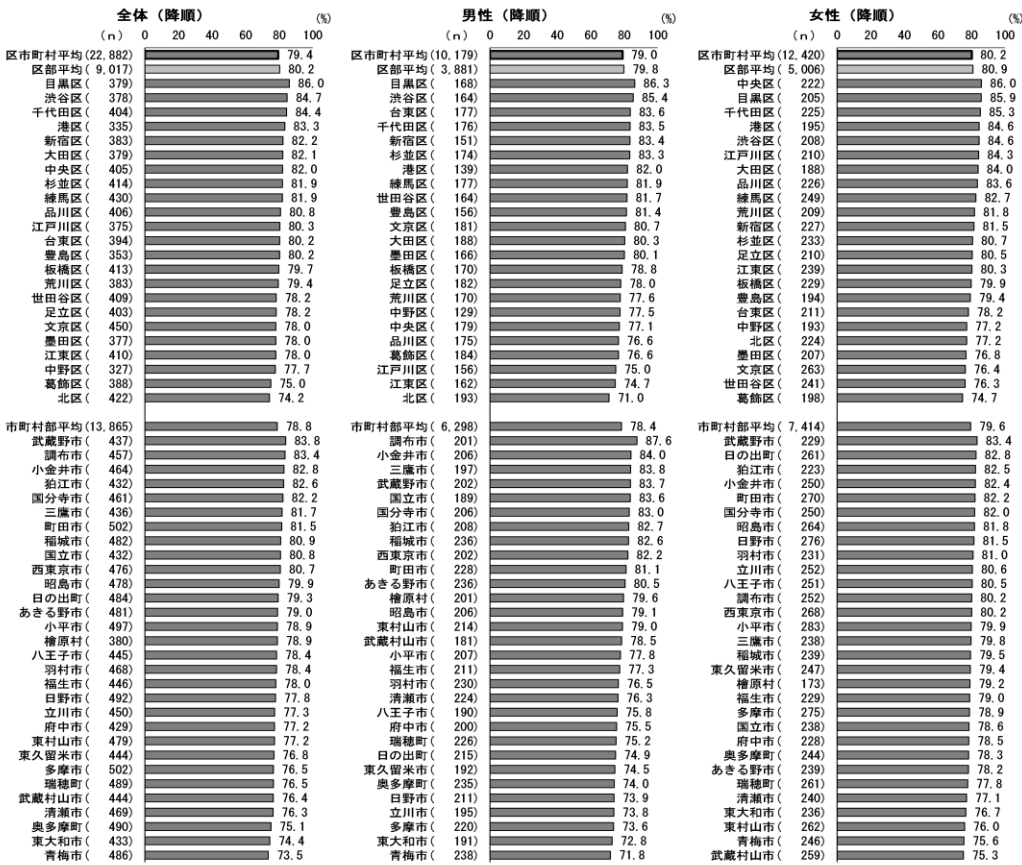
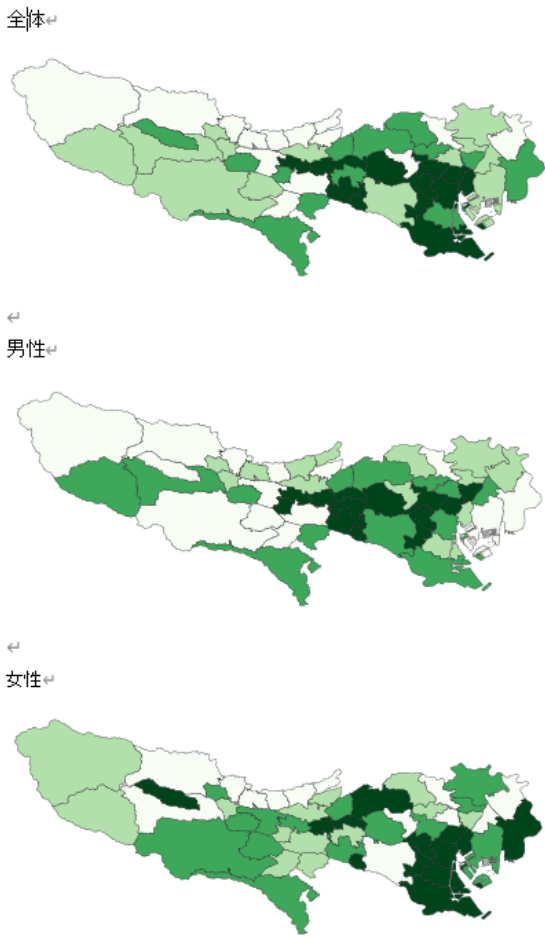


図2-1-2 自分の健康状態に対する意識（区市町村・性別）



第2章 区市町村及び二次保健医療圏・性・年齢2階級別結果

- 各区市町村の課題が一目でわかるよう、Zスコア（＝区市町村間の相対的な位置を示す指標）を用いたグラフを掲載

【算出方法】

$$Zスコア = (データ値 - 平均) / 標準偏差$$

- 指標採用項目は以下のとおり

（つながりに関する項目）

- ① 地域の人とのつきあいの程度
- ② 地域の人とのつきあいに対する満足感
- ③ 地域における困った時の助け合い、支え合いの意識
- ④ 地域における同じ世代の人との交流の機会
- ⑤ 地域における違う世代の人との交流の機会

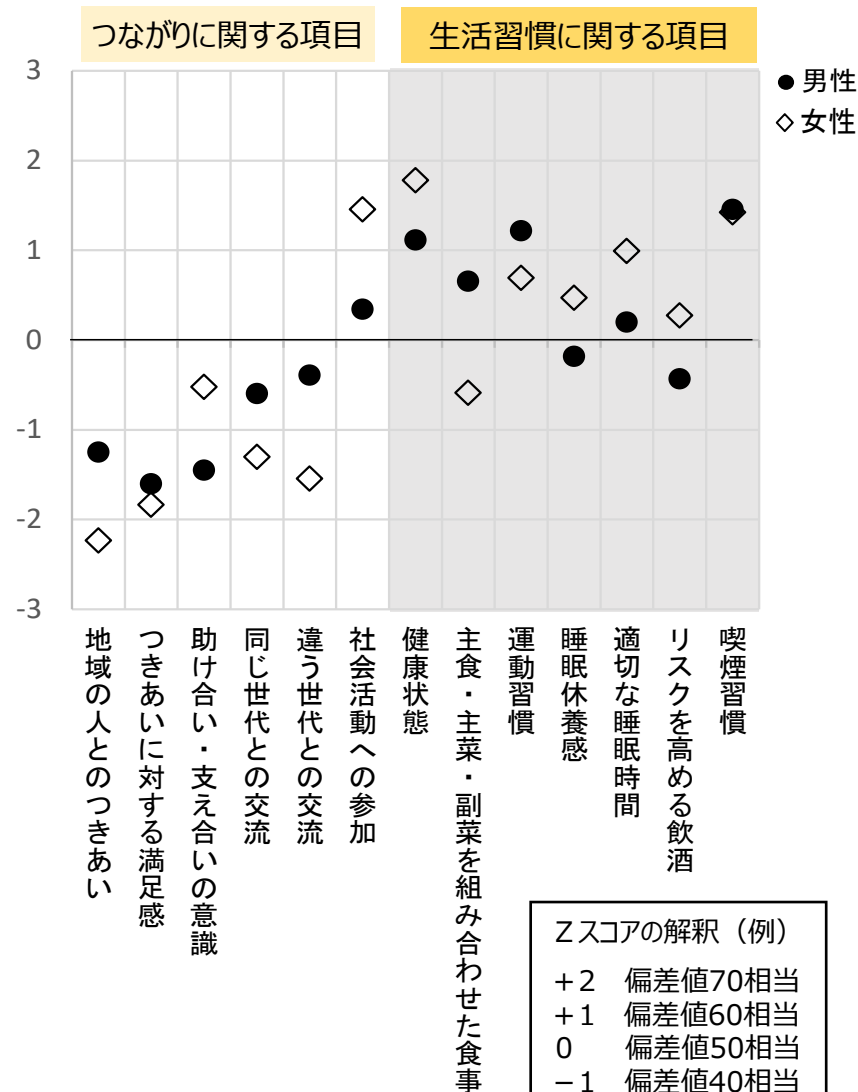
（生活習慣に関する項目）

- ⑥ 自分の健康状態に対する意識
- ⑦ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度
- ⑧ 運動習慣の状況
- ⑨ 睡眠充足感の状況
- ⑩ 睡眠時間の状況
- ⑪ 飲酒の状況
- ⑫ 喫煙の状況

- 区市町村ごとに、全体・20-64歳・65歳以上の年齢区分で集計

グラフイメージ

【●●区】全体



Zスコアの解釈（例）

+2	偏差値70相当
+1	偏差値60相当
0	偏差値50相当
-1	偏差値40相当
-2	偏差値30相当